

## 学校教育における福祉教育のあり方を探る

### I 研究の内容

- 1 各校の福祉教育の実践や様々な実践例から学び合う。
- 2 福祉教育のあり方を探りながら、研究授業に向けて部会員全員で授業づくりを行う。
- 3 理論研究、施設見学を通して、福祉について理解を深める。

### II 実践・研究授業

#### 1 各校の実践報告・実践事例学習会

各校の福祉教育の実践や部員各自が収集した実践事例から互いに学び合い、そこから統一授業研の授業づくりに向けて方向性を話し合った。

#### 2 施設見学

「創作工房くわの家」の見学

見学・学習内容

- ・施設の理念
- ・施設開設までの経緯
- ・施設の運営
- ・施設の設備
- ・利用者の生活の様子

#### 3 研究授業

第1学年 学級活動 「友だちのことを知ろう」

勝沼小学校 金井京子教諭

##### (1) ねらい

○夏休みの出来事をふり返る活動を通して、友だちにもそれぞれの思い出があったことに気づく。

##### (2) 本時の学習

- ・夏休みをふり返って、小グループでサイコロトークを行う
- ・ビンゴシートのマスに、夏休みの出来事を書き込む
- ・ビンゴゲームを行う
- ・分かち合いをする

##### (3) 研究会より

◇日記からやったことを拾い出し、本時に臨んだことがいい方向につながった。友だちとの「同じ」や「ちがい」に気づける授業であった。

◇ビンゴゲームで書く項目がたくさんあったので、子どもたちが楽しそうにことばを選ん

でいた。

◇ジャンルごとに色分けしてあって、わかりやすかった。

◇交流の中で喜んでいた子もいたので、たくさんの「同じ」を大切にしていけばよいのではないか。

◇いろいろな取り組みによって、子どもたちが楽しめていた。今後いろいろな場面で使って、活動のつながりを持たせていくとよい。

◇気づきもてる授業であった。

◇ふり返しカードにより、子どもたちの意識は高まったように思う。

### Ⅲ 成果と課題

#### 1 成果

- (1) 統一授業研に向け資料を持ち寄ることで多くの情報を得ることができたり、授業に向けてみんなで考えることができたりしたことで、福祉教育について改めて学習することができた。
- (2) 学級担任、特別支援担任、日本語指導担当、教務など様々な立場での実践報告から多くの情報が得られ、自分の実践に生かすことができた。
- (3) 学校教育における福祉教育というとボランティア活動や福祉講話が中心となりがちだが、道徳、学級活動、総合的な学習の時間など様々な領域にわたって「福祉」の授業や取り組みを実践できることを学んだ。
- (4) 夏季学習会では、「創造工房くわの家」を見学し、東山梨の福祉施設について学ぶことができた。また、義務教育卒業後の進学や就労などについて現状の課題など詳しく知ることができて勉強になった。

#### 2 課題

- (1) 福祉教育は、広く捉えることができ、そのことがよい面もあるが、広範囲になり逆に難しさもあった。
- (2) 夏の学習会（くわの家）が、とても良かった。また新たな学習会（臨地研修）を探すのが負担にならないよう、日頃から情報を得ることを心がけておくとよいと感じた。
- (3) 部員が増えてきているが、授業を提供できる方が限られてしまうので、もう少し増えたらと思う。また、中学校の先生にも本部会に入っていたきたい。
- (4) 様々な立場での実践発表はとても参考になるが、「福祉教育部会」として「福祉講話の効果的な活用法」とか「実践的な福祉教育の全体年間計画の立て方」など全員で取り組めるものがあったらいいのではないか。

#### 3 成果物

- (1) 統一授業研の授業づくりのために持ち寄った実践資料
- (2) 統一授業研の授業案
- (3) 実践報告学習会で報告された実践

(部長 藤波 貴)